

『地域密着型金融推進計画』の取組み実績

平成21年4月～24年3月

平成24年7月

東濃信用金庫

全体的な達成状況

計画に基づき着実に実行し、概ね達成できました。平成 22 年 6 月には、地域や地域の事業者の皆さまをより元気にするための支援を行う部署「とうしん地域活力研究所（略称：TOS研）」を新設しました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

創業塾の定期開催、創業支援制度の活用、他機関との連携強化などに取り組みました。

信用金庫業界、市町村と連携したビジネスマッチングによる支援に加え、当金庫のお客さま同士を結ぶ「とうしんビジネスマッチングサービス」をスタートしました。

経営支援グループを中心に経営改善支援に積極的に取り組み、また営業店への経営支援業務に関する定期的な情報発信を開始するなど職員の業務レベルアップにも力を入れました。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

目利き能力向上研修に加え、審査部審査役、本部企業専担者による営業店指導や支店長会議などで融資取組事例の発表を行い、情報の共有、職員のスキルアップに取り組みました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域経済の活性化に向けた地域の各委員会への参画、全国の成功事例の収集・活用など、人材育成、コンサルティング機能の強化に取り組み、地域経済全体を展望したビジョンを策定しました。

また、商業高校の課題研究授業の年間サポートや大学での短期集中講座、まちづくり出前講座などで金融知識の普及、金融トラブル防止の啓蒙に取り組みました。

成果目標に対する実績

項 目	3年間累計目標	年間実績	累計実績
	平成24年3月末	平成23年4月 ～平成24年3月末	平成21年4月 ～平成24年3月末
「とうしん創業塾」開催回数	6回	2回	6回
創業支援取組み先数	100先	44先	132先
経営改善支援取組み先数	300先	296先	434先
経営改善支援による債務者区分の ランクアップ先数	50先	30先	64先
とうしんMEサポート 流動資産担保融資	200百万円	—	38百万円
金融教育実施回数	60回	43回	131回

「地域密着型金融推進計画」(平成21年度～平成23年度)

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	具体的な取組み(数値目標)	スケジュール	進捗状況
		平成23年度	平成23年4月～平成24年3月
創業・新事業支援機能等の強化			
創業支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○「とうしん創業塾」の定期開催 ○「創業支援制度」「創業サポートローン」の活用 ○目標 創業塾開催回数 6回 創業支援取組先数 100先 	<ul style="list-style-type: none"> ○「とうしん創業塾」2回開催 ○「創業支援制度」「創業サポートローン」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に対する実績 創業塾開催回数 2回 創業支援取組先数 44先 創業支援融資実績 15件 224百万円 ○愛知県立春日井商業高校、多治見西高校の課題研究(起業家育成)に協力 ○多治見市新事業創出基盤整備委員会に参画
産学官の連携	<ul style="list-style-type: none"> ○東海地区産業クラスターサポート会議への参画・活用 ○中部大学・岐阜大学・名古屋大学・名古屋工業大学との産学連携の強化・進化 ○地方自治体・商工会議所等との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○産学官の連携についての研修 ○外部研修機関へ職員の派遣 ○大学主催行事への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○岐阜大学協力会総会、中部大学交友会総会に参加 ○産学官の連携についての研修に参加 ○産学官連携全国先行事例講演会、産学金間連携研究会に参加 ○岐阜工業高等専門学校と産学連携事業実施 ○産学連携相談受付 5件
取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化			
身近な情報提供・経営指導・相談	<ul style="list-style-type: none"> ○TOSプラザ経営支援部門強化 ○個別企業への企業診断実施 ○JRS経営情報、TKC経営指標BASTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○JRS経営情報、TKC経営指標BASTの活用 ○個別企業への企業診断実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○岐阜県中小企業応援センターと連携した「経営革新セミナー」の開催(3回シリーズ) ○創業相談でTKC経営指標BASTやJRS経営情報を活用
ビジネスマッチング等を活用した支援	<ul style="list-style-type: none"> ○各種ビジネスフェアへの積極的参加 ○しんきんビジネスマッチング情報の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種ビジネスフェアへの積極的参加 ○ビジネスフェアの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○しんきんビジネスフェアへ当金庫取引先18社が参加 ○「とうしんマッチングサービス」の強化 ○ビジネスマッチング成約件数 41件
国・地方公共団体・商工会議所・商工会等他機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業施策の職員への周知徹底、有効活用 ○政府系金融機関・保証協会との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○商工会議所等連携融資の有効活用 ○中小企業施策の職員への周知徹底、有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業専担者会議で「中小企業施策利用ガイドブック」を活用し、勉強会を実施 ○協調融資「すいっと保証」 3件 9百万円

項 目	具体的な取組み（数値目標）	スケジュール	進捗状況
		平成23年度	平成23年4月～平成24年3月
事業再生に向けた積極的取組み			
事業再生の早期着手に向けた取組みの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○経営支援グループ、営業店職員による定期的・継続的な訪問支援 ○経営支援グループ職員を全国信用金庫協会の企業再生支援研究専門部会へ派遣 ○目標 経営改善支援取組み先数 300先 経営改善支援による債務者区分のランクアップ先数 50先 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営支援グループ、営業店職員による定期的・継続的な訪問支援 ○営業店職員への集合研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に対する実績 経営改善支援取組み先数 296先 経営改善支援による債務者区分のランクアップ先数 30先 ○経営支援グループ、営業店職員の定期的・継続的な訪問による経営改善計画策定支援、進捗管理等の実施 ○営業店職員への集合研修や、同業務に関する定期的・継続的な情報発信
中小企業再生支援協議会等他機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○岐阜県信用保証協会主催「企業再生担当者連絡会」「ぎふ中小企業支援ファンド連絡会」等に積極的に参加、連携強化 ○「支援ファンド」「協議会版DDS」等の活用を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○「企業再生担当者連絡会」「ぎふ中小企業支援ファンド連絡会」等に積極的に参加 ○「支援ファンド」「協議会版DDS」等の活用を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○東海財務局主催の「資本性借入金」の説明会、監査法人主催の「資本的劣後ローンの戦略的活用セミナー」に参加 ○取引先に資本性借入金を活用した場合のシミュレーションを実施 ○岐阜県信用保証協会主催「企業再生担当者連絡会」等、他機関の行う研修会へ参加
取引先企業に対する事業承継支援への取組み			
後継者育成等に係る相談、相続対策のコンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ○FP相談機能の強化 ○地域力連携拠点との連携 ○信金キャピタルとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○FP相談機能の強化 ○信金キャピタルとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○(独)中小企業基盤整備機構、岐阜県産業経済振興センター、岐阜県商工会連合会等と連携し、事業承継対策に対応できる体制の構築
M&Aのマッチング支援	<ul style="list-style-type: none"> ○諸会議・研修等でM&Aに関する情報提供 ○信金キャピタル主催セミナー等参加 ○TKC中部会との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○諸会議・研修等でM&Aに関する情報提供 ○信金キャピタル主催セミナー等参加 ○M&Aに繋がる情報の集約 	<ul style="list-style-type: none"> ○信金キャピタルからの「M&Aに関する情報」を全店に公開し、関心のある取引先へ情報提供 ○信金キャピタル主催「事業承継コンサルティング勉強会」に参加 ○営業支援部職員に対する勉強会を実施

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項 目	具体的な取組み（数値目標）	スケジュール	進捗状況
		平成23年度	平成23年4月～平成24年3月
「目利き」機能の向上をはじめ事業価値を見極める融資＝不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底			
企業の将来性や技術力を的確に評価するための審査体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○審査役のスキルアップによる審査体制の強化 ○審査役による営業店臨店指導 ○営業店の審査体制の検証・強化 ○営業店職員のスキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○審査役の外部研修への派遣 ○審査役による営業店臨店指導 ○営業店職員の集合研修 	<ul style="list-style-type: none"> ○流動資産担保融資に関する研修に参加、岐阜県信用保証協会との情報交換の実施 ○支店長会議において事故事例の公表、事故原因や再発防止策の周知徹底等、情報の共有化を実施 ○審査役による営業店臨店指導を実施（四半期毎） ○営業店職員への研修や情報発信を実施
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○流動資産・設備資産担保融資制度の有効活用 ○目標 とうしんMEサポート 100百万円 流動資産担保融資 100百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ○流動資産・設備資産担保融資制度の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に対する実績 とうしんMEサポート 実績なし 流動資産担保融資 実績なし ○不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資実績 22件 130百万円
目利き能力の向上、人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業診断士の養成 ○外部講座への派遣 ○金庫内研修の実施 ○目利き能力、企業支援に関する通信講座の受講 	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業診断士の養成 ○外部講座への派遣 ○金庫内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○外部講座への派遣 7名 ○金庫内研修の実施 336名 ○関連通信講座の受講 51名 ○FP1級技能士 5名 ○FP2級技能士(中小企業) 2名
中小企業に適した資金供給手法の徹底			
中小企業の資金調達手法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> ○私募債、シンジケートローン、PFI等の取組強化 ○専担者の育成強化 ○外部機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○私募債、シンジケートローン、PFI等の取組強化 ○専担者の育成強化 ○外部機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○岐阜県信用保証協会業務説明会に参加 平成23年10月25.26.27.28日 対象：渉外担当 ○愛知県信用保証協会業務説明会に参加 平成24年1月10.11.12.13日 対象：渉外担当
個人・小規模事業者の資金ニーズに対するきめ細やかな対応	<ul style="list-style-type: none"> ○SF、ビジネス固定ローン等の有効活用 ○個人・小規模事業者に対する相談機能強化、審査態勢の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○SF、ビジネス固定ローン等の有効活用 ○個人・小規模事業者に対する相談機能強化、審査態勢の運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○グロース等の有効活用 115件 1,033百万円 ○金融円滑化に向けた相談態勢の強化

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項 目	具体的な取組み（数値目標）	スケジュール	進捗状況
		平成23年度	平成23年4月～平成24年3月
地域の面的再生への役割発揮			
地域経済全体を展望したビジョン策定への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○地域経済の活性化に向けた各種委員会に参画 ○全国地域の成功事例の情報収集・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域経済の活性化に向けた各種委員会に参画 ○全国地域の成功事例の情報収集・活用 ○ビジョン策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域経済の活性化に向けた各種委員会に参画 元気なたじみ企画実行委員会 多治見商店街まちづくり検討会 みのかも定住自立圏地域力創造研究会等 ○全国地域の成功事例の情報収集・活用 全国信用金庫協会、信金中央金庫より収集 ○地域経済全体を展望したビジョン策定 1件 「美濃焼タイル産地の現状と今後の方向性」
地域の活性化につながる多様なサービスの提供			
地域を担う若い世代や高齢者への金融知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ○金融経済に関する出張授業の実施 ○悪質商法・振り込め詐欺防止の講話の実施 ○目標 金融教育実施回数 60回 	<ul style="list-style-type: none"> ○金融教育実施 20回 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に対する実績 金融教育実施回数 43回 ・商業高校の課題研究授業を年間サポート 課題研究「ファイナンシャルプランナー」 ・高齢者を対象とした振り込め詐欺被害防止講話
多重債務者問題への一定の役割発揮（相談機能を活かした予防策、多様な融資商品・目的別ローンなどの活用）	<ul style="list-style-type: none"> ○中学、高校での金融トラブル、消費者トラブルをテーマとした出張授業の実施 ○地域の自治会、老人会等で訪問販売などの悪質商法についての予防講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者教育授業の実施 ○悪質商法予防講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校、高校での金融教育 お金の管理、クレジットカードの利用、お金を借りることなど計画性をもってお金と接するよう指導
コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資（マイクロファイナンス的な取組み等）、地域社会への貢献・還元	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO応援ローンの推進 ○認知症サポーターの養成 ○スポーツ・文化振興、奨学金制度の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO応援ローンの推進 ○認知症サポーター養成講座受講 ○スポーツ・文化振興、奨学金制度の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症サポーター養成講座 開催 1回 受講者 46名 開催累計 37回 受講者 716名 ○「とうしんCUP」「金融教育川柳コンクール」「中学生イラストコンテスト」の開催 ○「とうしん地域振興協力基金」「東濃信用金庫育英会」による助成 ○美濃陶芸作品永年保存事業

経営改善支援の取組み実績

【23年4月～24年3月】

(単位：先数)

		期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み 先 α	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先 γ	αのうち再生計画を策定した先数 δ	経営改善支援取組み率 = α/A	ランクアップ率 = β/α	再生計画策定率 = δ/α
正常先 ①		4,459	4	/	1	2	0.08	/	50.00
要注意先	うちその他要注意先 ②	1,656	212	22	170	212	12.80	10.37	100.00
	うち要管理先 ③	35	21	6	7	21	60.00	28.57	100.00
破綻懸念先 ④		248	59	2	54	59	23.79	3.38	100.00
実質破綻先 ⑤		41	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
破綻先 ⑥		19	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
小計 (②～⑥の計)		1,999	292	30	231	292	14.60	10.27	100.00
合計		6,458	296	30	232	294	4.58	10.13	99.32

(注)

- ・ 期初債務者数及び債務者区分は平成23年4月時点で整理
- ・ 債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
- ・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。
 なお、経営改善支援取組み先で途中で完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。
- ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。
- ・ 期初に存在した債務者で新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理すること。
- ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
- ・ γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
- ・ みなし正常先については正常先の債務者数に計上のこと。
- ・ 「再生計画を策定した先数」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」